

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」名古屋校			
○保護者評価実施期間	2025年11月3日 ～ 2025年11月29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	9名
○従業者評価実施期間	2025年11月3日 ～ 2025年11月 29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	季節の小集団イベントを行っています。	ハロウィン、クリスマスなど季節に合ったイベントを毎年開催しています。特に今年度は小集団での活動も増やし普段見る事のできないお子様の集団での様子も見ることができました。また集団での様子を踏まえて個別の活動に役立てることもしています。	これまで開催したイベントはいずれも教室内で出来るものだけでした。その為今後は事業所内だけでなく、近くの公園を訪れ季節を感じるなどのお出掛けイベントの開催を視野に入りたいです。これらに合わせて、ママカフェの開催も検討していきたいです。
2	その状況に応じた支援を提供しています。	担当の指導員だけでなく様々な職員が関わる中で面接練習などを行うことで、日常生活で必要な内容を練習することができています。また、複数名の指導員が関わる事でそれぞれが持つ視点からアドバイスをしたり一緒に考えることができます。	名古屋校では2025年11月より新しく理学療法士の資格を持った職員が入職しました。その為、児童指導員・保育士・教員・理学療法士を持った職員がいます。各職員同士で知恵を出し合う事で様々な角度から新しいプログラムを組み立てることができます。
3	SNSの運用等新たなことを行っています。	LINEやブログ、インスタの投稿などSNSを通した新たな取り組みを行っています。特にインスタグラムではストーリーを毎日更新したり、ストーリーにてお子様に向けたクイズを展開するなどしています。	SNSなどを通して、新たな取り組みを行いたいと考えています。例えば、イベントの参加希望をインスタやブログで集計する、インスタでキーワードを発表しその言葉を報告して楽しむなど

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在全ての利用者さんに展開できるイベントが行えていません。	現在年長以上のイベントは開催できていますが、年長未満を対象としたイベントを開催することができていません。なので年長未満の児発のお子さんでも参加できるようなイベントの開催を計画していけるようにしたいです。	未満児のお子さんでも小集団で活動しやすいように保護者の方々にも参加をお願いするなどして開催を検討していきたいです。その際に併せてママカフェの様な保護者の方にプラスになるイベントを開催できるようにしていきたいです。
2	保護者同士の交流が少ないです。	要因としては本校ではお勤めになっている保護者の方も多く時間の都合が合わない事が考えられます。その為、保護者同士の交流の機会を設けることが難しいという現状です。	保護者様がどのようなニーズを抱えているのか把握するためにはまずはアンケートをとる事が必要です。その中で要望のあったことやその他ママカフェの実施や就学に向けた年長さんの保護者の方が集まる会などを検討していきたいです。
3	新しい事（SNSなど）をやってみたが周知率が低いです。	職員間でSNS運用の方法についての理解度が低いです。その為、SNSのアピールや説明が詳細にできない事が原因としてあります。なのでまず事業所内での周知度を高めていくことを目標にします。	職員全員が理解しなければいけません。また、保護者の方々に向けたSNSのアピールについても強化していく必要があります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」名古屋校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 10

回収数 9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	0	0	0	・そう思います。	ありがとうございます。今後も適切なスペースを確保していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	0	0	0	・そう思います。 ・1人に1人以上で対応して頂けて手厚く見て頂いています。	ありがとうございます。今後も努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0	0	0 (※無回答2)	・そう思います。 ・兄弟間で空間を仕切って頂いてわかりやすくして頂けていると思います。	ありがとうございます。今後も安全に楽しく通って頂けるように、努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	1	0	・パーティションがカーテンなので音が気になる。簡単に向こう側へ行き来できてしまう。 ・そう思います。	申し訳ございません。現在部屋の構造上カーテンでの区切りになっています。今後より良い方法を考えていきます。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	0	・好きなキャラクターを用いてやる気を出させてくれたりしてと思う。 ・子供の好きな遊び、キャラクター等を取り入れた上で、子に応じた支援をして頂いています。	ありがとうございます。今後も利用者様に楽しみにご来所頂けるように工夫してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	0	0	1	・そう思います。	今後も継続してまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	0	・そう思います。	今後も継続してまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	0	0	2	・1度だけ支援計画を見させて頂けた。ただ先生からは「こうしていきます」と言っていて。 ・そう思います。	6か月に1度、保護者様とのモニタリングの際に計画を見直しております。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0	・そう思います。	今後も継続してまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	0	0	0	・季節ごとのイベントでは手作り工作があり毎回楽しそうに作ってます。 ・毎回異なるプログラムを組んでいただき楽しく通わせて頂いています。 ・色々遊びながら学べる道具を作って子供が爱不释手にされてると思う。	ありがとうございます。今後もお子様にあった玩具を活用して支援を提供していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	0	4	4	・個別を求めているので大丈夫です。 ・すみません。わかりません。	現在行えていません。今後、ご要望に応じて検討していきます。
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	1	0	0	・はい。	今後も継続してまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0	・はい。	今後も継続してまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	3	5	・すみません。わかりません。	周知不足で申し訳ございません。ご要望に応じて開催を検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	0	0	0	・毎回必ず先生から話をして頂けます。新しい先生でも同じように対応して頂けるとより良いです。 ・そう思います。	ありがとうございます。指導員変更があった場合にも、保護者様と密な情報共有を心掛けていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	0	・定期的に面談に予定を組んで頂き子の様子を伝えて頂いたりアドバイスを頂いています。	ありがとうございます。今後も保護者様と密な情報共有を心掛けていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0	・少し早く着くときもありそんな時でも誰かしらの先生が出ていて対応してくれます。すみません・・・ ・そう思います。	ありがとうございます。今後も皆様に楽しくご利用いただけるように努めてまいります。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	0	4	5	・現状必要とまではませんので大丈夫です。 ・すみません。分かりません。	ご要望に応じて開催を検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	0	1	・家での話をしている和先生から次はこうしますという話をしして頂けており大変助かっています。 ・そう思います。	ありがとうございます。今後も保護者様と密な情報共有を心掛けていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	0 (無回答1)	・そう思います。	今後も継続してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	0	0	2	・LINE等で発信して頂いています。	LINE、ブログ、Instagramを運用、活用させて頂いております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0	・そう思います。	今後も個人情報の取り扱いには十分留意してまいります。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	0	0	1	・そう思います。	今後も継続してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	3	・そう思います。 ・自分が理解していないだけです。	毎月防災訓練を実施し、廊下に訓練内容を掲示しております。また、利用者様に訓練にご参加頂く場合もございます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0	・そう思います。	ありがとうございます。今後も安心してご利用いただけるように努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	0	0	3	・おかげさまで今までその状況になったことがないのでわかりません。・自分が見ていなかった時の様子やトイレなど細かな所でも話をしてくれます。・必ず伝えて頂いてます。	ありがとうございます。今後も安心して通って頂けるように努めてまいります。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0	・通い始めて8か月ですが、嫌がる事無く信頼関係が出来てきていると思う。 ・いつも楽しく通わせて頂いてます。	ありがとうございます。今後も皆様楽しくご利用いただけるように努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8	1	0	0	・毎回楽しみにしてて、次はだれが行けるのか聞いてきます。枠が増えると嬉しいです。・いつも楽しく通わせて頂いています。	ありがとうございます。今後も皆様楽しくご利用いただけるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0	・とても満足しています。	ありがとうございます。今後も皆様楽しくご利用いただけるように努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」名古屋校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保しています。	人数が多くなってしまう場合には部屋をパーティションで区切っている為、隣の声が気になってしまうことがあります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる配置数を確保しています。	特に問題ありません。
	3	しているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー	○	○	カーテンやパーティション等でスペースを仕切り個室で集中できるようにしています。	玄関に段差があることや、風が強い時に勢いよくドアが開いてしまうことがあります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝決められた時間に清掃し、設備等の不具合もチェックし、清潔で心地よく過ごせる環境を心掛けています。	人数が多くなってしまう場合には部屋をパーティションで区切っている為、隣の声が気になってしまうことがあります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個別の部屋を使用できるよう、部屋を確保しています。	人数が多くなってしまう場合には部屋をパーティションで区切っている為、隣の声が気になってしまうことがあります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日ミーティングを実施し、職員全員が参加しています。	特に問題ありません。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		名古屋校では2025年11月より新しく理学療法士の資格を持った職員が入職しました。その為、児童指導員・保育士・教員・理学療法士を持った職員がいます。各職員同士で知恵を出し合う事で様々な角度から新しいプログラムを組み立てることができます。	改善が必要なものについては都度話し合い解決できるように進めていきたいです。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日のミーティング時や、その他適宜職員の意見等を把握する機会を設けており、業務改善につなげています。	公休の職員への伝達漏れが時折あるので今後は社内メールなどを活用していきたいです。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○	社内で内部監査を行っています。	現在は利用者・社内の二者評価を取っております。第三者による外部評価は現在実施する予定はありませんが、必要に応じて実施を検討いたします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		初任者研修を始め、経験年数に応じた社内研修や月に一度の定期的な研修等を実施しております。	特に問題ありません。
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		事業所HP内ブログ記事やInstagramで公表しているほか、事業所内で掲示しています	今後社内で公表方法を統一していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。	特に問題ありません。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画期間ごとに行われるモニタリングに保育士、指導員も参加し、それを個別支援計画に反映しています。	利用者様によっては、指導員と個別支援計画作成者が普段から情報を共有できていない場合があるので、今後改善します。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画書は、全職員が閲覧できるようにしており、その計画に沿って支援内容を決定しております。	担当以外の利用者様の様子を見ることが少ない為全てのお子さんの状況を把握しにくいことがあります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		子どもの状態について多角的な視点でアセスメントすることができています。	特に問題ありません。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		報酬改定による追加項目について留意しながら支援計画を作成できています。支援内容についても明記されているものが多いです。	「地域支援・地域連携」はできていません。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		お子様の事例を共有し、議論するケース検討会を開催し、活動プログラムの立案を行っております。	個別支援が主となる為、個人で活動プログラムを立案することが多いですが、必要時には職員内で相談する機会も設けています。

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		常にその時その時のお子様一人ひとりの特性や興味に合わせて、効果的に楽しく学べるプログラムになるよう工夫しています。	お子さんによってはプログラムが固定化されているお子さんもいます。その点は都度、保護者様と情報を共有しながら進めています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	○	必要に応じて小集団支援を行うこともあります。	個別活動が基本となる為、現在集団活動は定期的には行うことができていません。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝ミーティングを実施し、職員間での情報共有を行っています。	ミーティングは毎日行い情報共有に努めていますが個別支援が主となる為、個人で活動プログラムを立案することが多いです。必要時には職員内で相談する機会も設けています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	終礼等は行っていないので、支援の振り返りは翌日以降に行っています。	ミーティングを毎回行い、職員間での情報共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回支援記録をとり見直すことで、お子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容・方法を更新しています。	特に問題ありません。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		適切な時期にモニタリング・会議を行い見直しの必要性を判断しています。	特に問題ありません。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理者と、その子どもの状況をよく理解している担当指導員が会議に参加しています。	必要時には園訪問を実施するなどの活動に努めています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	○	保育園・幼稚園訪問を実施し、関係機関と連携して支援を行う体制を整えています。	全ての利用者様で実施ができていないことがあります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	○	保育園・幼稚園訪問を実施し、情報共有に努めています。	全ての利用者様で実施ができていないことがあります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	○	関係学校と連携をとり、情報共有を行う機会を設けています。	全ての利用者様で実施ができていないことがあります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		研修の場などで研究職の方から助言をいただくことがあります。	特に問題ありません。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	現在交流する機会がありません。	運営上、事業所外の方と関わるのが難しいですが、ご要望があれば機会を設けることができるよう検討します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援終了後には保護者様とフィードバックを行い発達の状況や課題についてその都度共有させて頂いています。	特に問題ははありません。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	必要時はフィードバックでアドバイスをしています。	研修は現在取り組むことができていませんので、今後必要時の開催を検討していきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規程・利用者負担額等について契約時に丁寧にご説明するとともに、事業所内に重要書類を掲示しています。	特に問題ははありません。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		児童発達支援計画を作成する際、お子様の最善の利益を考慮しつつ、お子様・保護者様の意向を確認する機会を設けています。	特に問題ははありません。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画変更時には、支援内容の説明を行っています。	特に問題はありません。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて支援後のフィードバック時にご家庭での対応方法についてアドバイスをしています。	前後のご利用者様の関係や親御様のご都合によっては短い時間での共有になってしまう時があります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	以前はママカフェを定期的に開催しておりましたが、現在行えていないです。	ご要望に応じて再度開催を検討いたします。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		職員間で共有をし、対応できるようにしています。	特に問題はありません。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HP、LINE、Instagram、ブログを活用し、発信させて頂いています。	発信はしている内容の周知が行き届いていない時があります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に記載された書類等は鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。	特に問題はありません。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様・保護者様の状態に応じて、意思疎通や情報の伝達等できるよう配慮しています。	特に問題はありません。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	現在実施していません。	ご要望があれば機会を設けることができるように検討します。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定し、訓練を実施しています。	訓練を実施することはできていますが、内容を周知できていない時があります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、訓練を実施しています。	訓練を実施することはできていますが、内容を周知できていない時があります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服薬やてんかん発作等の確認をし、職員内で情報を共有しています。	年度初めに伺っているため、年度の途中で始めた服薬を把握できない場合がありますので今後は都度確認を行います。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		対象のお子様については、指導時に該当物質との接触がないように留意しています。また、保護者の方にはアンケートを取り、職員内での共有をしています。	通常時食べ物は扱っていませんがイベントの際にお菓子を配布することもあるので、保護者の方にアンケートをとり職員内で共有しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画の作成。職員全員で研修を受け、それに従って安全管理をしています。	特に問題はありません。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		随時保護者の方への子承をいただいた上で、お子様と一緒に防災訓練を実施しています。また避難経路等を校舎内に掲示しています。	取り組みについての周知ができていないことがあるので今後実施していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが起こりそうな場面について職員間で話をし、未然に防ぐよう留意しています。起こった際は報告書を作成・保管し、情報共有と対策を行っています。	特に問題はありません。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止のマニュアル作成、職員全員で研修を受け、虐待防止に努めています。	特に問題はありません。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束が必要な場合は個別支援計画に記載いた上で説明、了承をいただきます。	特に問題はありません。